

も どうし

議会だより

No.46

令和2年4月1日発行
山梨県道志村議会

人と自然が輝く水源の郷



つぼみっこクラブ
「子育て支援事業」
れいわ
〇和の担い手

- 定例会（令和2年度一般会計補正予算、他）… P 2
- 議案等の質疑 …… P 5
- 一般質問 …… P 8
- 議会活動報告 …… P10
- あの一般質問は・今 …… P12
- 紹介（民生委員・児童委員協議会）…… P13
- がんばる人紹介（中学校長 跡部洋二さん）…… P14

みなさまの声を議会に

TEL : 0554-52-2112 FAX : 0554-52-2572 E-mail : gikai@vill.doshi.lg.jp

3月 定例会

令和元年度補正予算、令和2年度 予算その他の議案を可決承認

3月定例会は3月5日から13日まで開催され、条例制定(1件)、条例改正(9件)、指定管理者の指定(1件)、元年度一般会計補正予算、特別会計補正予算(計7件)、2年度一般会計予算、特別会計予算(計8件)、合計26案件を審議し、原案通り可決承認しました。

一般質問は2人が行い、2日目には指定管理者の案件と補正予算の可決、最終日にはその他の案件を審議し可決しました。

おもな審議事項

●令和元年度一般会計補正予算 6085万円を減額し、総額 21億 2295万円で議決

おもな財源 (補正分)	・村 税 (村民税、固定資産税、村たばこ税、他) …………… 134万円
	・国庫支出金 (国庫負担金、災害復旧費国庫負担金、他) …………… △ 2,262万円
	・県支出金 (県負担金、県補助金、委託金、他) …………… 1,692万円

おもな使いみち (補正分)	・総務費 (総務管理費、徴税費、他) …………… △ 1,893万円
	・民生費 (社会福祉費、児童福祉費、他) …………… △ 1,711万円
	・衛生費 (保健衛生費、老人保健事業費、他) …………… 492万円

●条例改正を議決

- ・条例改正9件 道志村国民健康保険条例の一部を改正する条例、他8件

●指定管理者の指定を議決

- ・道志森のコテージの指定管理者を決定(期間3年)

●令和2年度一般会計予算、総額 21億 700万円で議決

おもな財源	・村 税 (村民税、固定資産税、入湯税、他) …………… 1億 9,920万円
	・地方交付税 …………… 10億 6,003万円
	・寄付金 (一般寄付金、どうし森づくり基金寄付金) …………… 1億 7,058万円

おもな使いみち	・総務費 (総務管理費、戸籍住民基本台帳費、他) …………… 4億 7,774万円
	・民生費 (社会福祉費、老人福祉費、他) …………… 3億 1,205万円
	・農林水産業費 (農業費、林業費、水産業費) …………… 1億 4,253万円
	・土木費 (土木管理費、住宅費、他) …………… 2億 3,417万円

●令和2年度特別会計予算 7会計を議決

令和2年度 一般会計予算

社会福祉協議会活動強化拠点整備
(旧県民信組跡) 改修費等総額
4,442万円など

21億700万円を可決

令和2年度 一般会計予算の主な事業は

総務課	<ul style="list-style-type: none"> ●公有財産管理事業 1,416万円 ●広域常備消防事務委託事業 10,208万円 ●防災行政無線管理事業 4,102万円 ●災害対策事業 1,154万円 	<ul style="list-style-type: none"> ●庁舎維持管理事業 7,560万円 ●村制施行130周年記念事業 2,355万円 ●消防団活動事業 1,003万円 ●公用車維持管理事業 756万円
ふるさと振興課	<ul style="list-style-type: none"> ●横浜市道志情報館事業 1,690万円 ●移住・定住促進事業 439万円 ●公共交通対策費 1,500万円 	<ul style="list-style-type: none"> ●オリ、パラ競技大会推進事業 2,047万円 ●創業支援事業 100万円 ●サテライトオフィス誘致事業 461万円
住民健康課	<ul style="list-style-type: none"> ●社会福祉協議会改修事業 4,442万円 ●障害者自立支援介護給付事業 2,256万円 ●すこやか子育て医療費助成事業 511万円 	<ul style="list-style-type: none"> ●重度心身障害者医療費助成事業 650万円 ●予防接種事業 448万円 ●結婚相談事業 107万円
産業振興課	<ul style="list-style-type: none"> ●環境保全事業 5,005万円 ●農村地域防災減災事業 1,520万円 ●橋梁長寿命化修繕事業 6,304万円 	<ul style="list-style-type: none"> ●観光施設等維持管理事業 1,430万円 ●農業委員会費 214万円 ●森林環境譲与税 939万円
教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ●村単教員設置事業 1,318万円 ●学校スクールバス委託事業 3,339万円 ●高等学校就学助成事業 528万円 	<ul style="list-style-type: none"> ●JETプログラム推進事業 448万円 ●学校給食事業 2,221万円 ●入学祝金支給事業 84万円

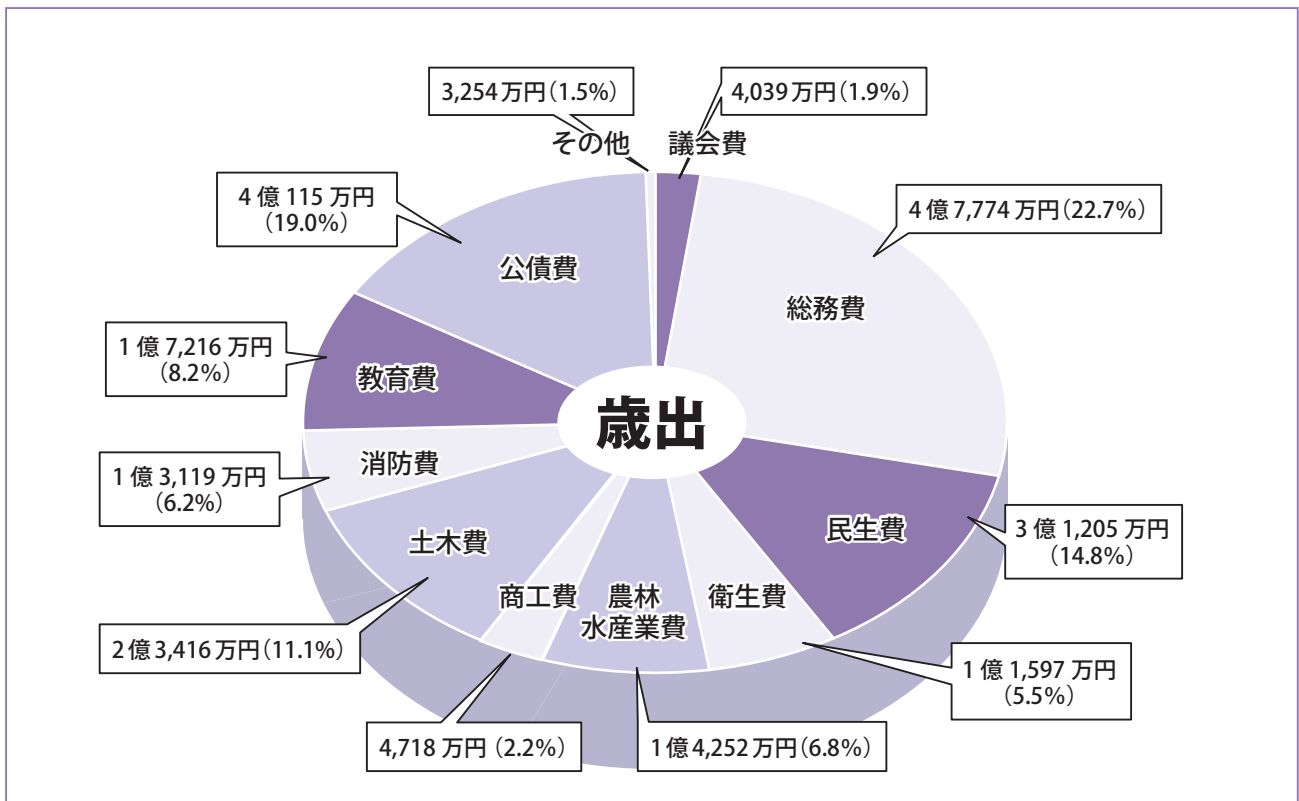
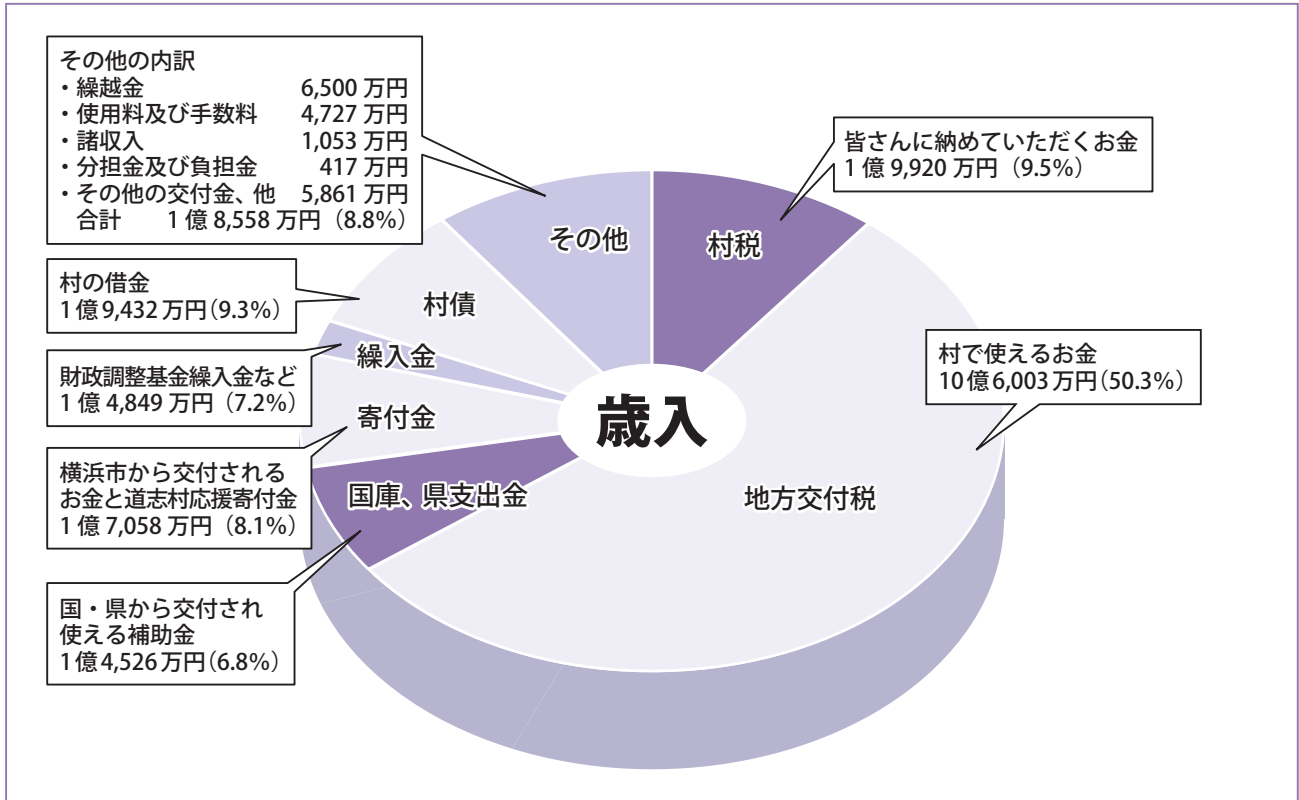
令和2年度 特別会計予算は

会計名	令和2年度予算	令和元年度予算	前年度比
国民健康保険	3億599万円	2億6,882万円	13.8%
国民健康保険診療所	1億934万円	1億993万円	△0.5%
簡易水道事業	9,087万円	8,372万円	8.5%
介護保険	2億517万円	2億467万円	0.5%
介護保険サービス事業	44万円	52万円	△15.7%
浄化槽事業	1億1,894万円	1億1,336万円	4.9%
後期高齢者医療	5,200万円	4,993万円	4.1%
合計	8億8,275万円	8億3,035万円	6.3%

プラス
12.2%

21億700万円の内訳

前年度比



※ 数値は万円単位に調整してあります。

Q&A 議案等の質疑



Q 新型コロナウイルスに対する対策は？

● 3月9日PM 4:00 役場内に対策本部を設置

A 村長を本部長とし。関係機関の指示を仰ぎながら小中学校の休校措置や道の駅どうし、道志の湯など公共施設の一時閉鎖などの措置を講じている。国・県及び本村の危機管理に関わる重要な課題であるという共通理解の下、緊張感をもって対応していくと同時に、臨機応変に決断、対処していく。

Q 若者定住応援補助金は

●定住、永住を前提として村内に住民登録をし、かつ、継続して居住すること、ほか。

A

メニュー	補助率	条件
住宅新築補助	事業費の1/2 ※中古住宅購入の場合は、固定資産評価額を上限とする	事業費 50万以上 補助金上限 200万円 ※予算の範囲内とする
住宅改築・増築補助		
土地、中古住宅購入補助	借入利率の1/2	融資 500万以上 償還期間 10年以上
上記を行うために借り入れた資金の利子補給		

Q 道志村 LED 街路灯整備計画の進捗状況は

- LED に交換した時の削減費用額は年間約 350 万を見込める

A 村道は昨年 9 月に工事終了していません。10 月から本年 2 月迄の 5 ヶ月間で一昨年比 160 万円の削減が来ています。



Q 本村の特別養護老人ホームの利用状況は

- 村民 25 人が利用

A 現在、特別養護老人ホーム青根苑に 18 名、他施設に 7 名入居しており、特に青根苑においては、雇用の場にもなっており、本村においても重要な施設である。



Q 医療用ヘリポート整備事業の進捗状況は

- 今年度中には着工する

A 設計書が出来上がったので、善之木地区水の元の予定地に 3 月中には着工し完成はオリンピック前を予定にしている。



Q 移住定住事業の年間目標値の達成状況は

●本年度の実績は下表による

A 28年から事業を実施し、4年がたち近年は徐々に移住者の数も増え、セミナー参加やイベント等を行い、過去2年は年間目標の8名を達成できている。

平成28年	3世帯	5人
平成29年	4世帯	6人
平成30年	5世帯	11人
令和1年	9世帯	19人

Q (株)どうしの来年度に向けた具体的目標は

●道志の湯も含めた問題点の改善と売り上げ向上施策を計画している

A 売り場を3分割し日用品の販売、オンラインピックとオートバイの人を対象とした商品を検討、季節のイベント回数を増やす、冬季のイベント出店、夏季のキャンプ場への営業等を実施して売り上げUPを目指す。



Q 山梨県民信用組合道志支店の跡地の活用は

●道志村社会福祉協議会が移転

A 社協は地域福祉の推進を図ることを目的としています。単独事務所を持つことで、多世代が集い多くの村民が利用しやすく、安心して暮らせる村づくりを目指すことが出来ます。これまで行ってきた福祉サービスの充実と新規事業の開拓を検討し、身近な社会福祉問題の解決に向けて地域の方々や関係機関と共に考え、実行していく。



Q 道志・都留防災トンネルの現状は

A 令和元年度県の予算に調査費が計上された



杉本孝正 議員

杉本
道志・都留防災トンネルの進捗と今後の見通しは

村長

本事業は山梨県の事業で、令和元年に調査費が計上され、現地調査、路線の検討がされている。今後は地形、地質等詳細な調査が行われると考える。山梨県との連絡を密にしていく。

Q 過疎化の波が進み商店等の休業閉店が発生し生活用品の買物難民が生じているがこの対策は

A 道の駅どうしを活用させ対応策を考える

村長

道志村総合計画に基づき、「道の駅どうし」

を活用した買い物環境の整備をする。取扱商品の検討を行い、営業時間についても道の駅どうしと協議中である。ガソリンの問題については、重要な課題であると認識している。

Q 東京オリンピック自転車ロードレース大会に向けた準備体制と、レガシーは

A テストレースの結果を踏まえ準備している

ふるさと振興課長

前年実施されたテストレースにおける課題を組織委員会と共有しながら準備している。コースサポートの人員確保のため昨年参加した



道の駅に設置されている横断幕

サポートの意向調査を実施している。現在、装飾による村内の機運醸成を図り沿道の景観整備を進めている。

レガシーについては、オリンピック公式エンブレム入りのウエルカム

ボードを道の駅どうし及びやまゆりセンター周辺に設置し、レガシーロードとして周知していく。サイクリストの受け入れ体制づくりやモデルルートの設定に取り組む。

Q 新型コロナウイルス感染症の発生が報告されて以来、感染者の増加が続いているが道志村に感染者が出たときの対応は

A 新型インフルエンザ対策マニュアルで対応

住民健康課長

村に感染者が出た時の対応は、新型インフルエンザ対策のマニュアルを準用し、山梨県・富士東部保健所の指導により対応する。



菅谷政文 議員

Q 転入者のごみ処理について

A 基本地区ゴミステーションを利用

菅谷

Q 近年新たに転入された方の一般ゴミの処理について、各区の自治会へ村としての呼びかけ、橋渡しは

産業振興課長

転入手続きの際にゴミの出し方の説明を行っている。地区自治会のゴミステーションの利用を案内し、自治会長に「新たに利用の希望者がいる」旨の連絡をしている。

Q 当該地区への専用ゴミステーション新規の設置、回収等の考えは

産業振興課長

現在も10戸以上の利用者が集まった個所には10万円を上限に設置補助金を出している。

Q 鳥獣対策支援費を現行の限度10万円の半額から大幅に拡大する考えは

産業振興課長

柵などに対する補助率は現在材料費の50%ですが、農家が市場や道の駅に出荷できない状態で被害金額が高額になり経営が困窮するなどの事案が発生し、引き上げに対する気運が高まれば議論していく。

Q 鳥獣ネット設置の工事費に対する補助金の考えは

産業振興課長

農業の予算からの助成制度ですので、家庭菜園に対しての考えはありません。

また、設置に関する経費は正確な額が算定できないので対象にしておりません。

Q 道志の湯無料化について、4月以降の無料

化は

産業振興課長

現在4月以降の無料化の予定はありません。

Q 多くの方から湯量が少ないのではないかと意見も聞きます。管の清掃やポンプの交換等の費用は

産業振興課長

老朽化したものを順次更新しています。清掃にかかる費用ですが、清掃よりも交換のほうが現実的であり、ポンプの交換込みで最低で1千200万円ぐらいです。



設置されているゴミステーション

議会活動報告

● 議会ペーパーレス化検討会

令和元年 12 月 18 日

本議会では、議員、議会活動の円滑化、事務の効率化を進める為、当初より議会改革の一環の中でペーパーレス化に向けての話し合い、先進地の視察研修を行い、昨年 6 月定例会後ペーパーレス化検討会（仮称）を立ち上げ、検

討を重ねスマートフォンやタブレット端末を使用し連絡調整、スケジュール管理、災害時の被害状況の情報共有など行っている。次期の課題として、ペーパーレスの完全実施に向けて、協議検討を深めていく。

● 道志中 3 年生による 15 歳の提言

令和元年 12 月 18 日

道志中学校多目的ホールにて中学 3 年生による村への提言に出席、今回は 3 班に分かれ「魅力ある村作り」、「道志の人材活用」、「道志村の魅力発信」と中学生目線による各プロジェ

クト内容や具体的な事業説明会についての発表がありました。発表後は各議員もそれぞれの班に入り、村の現状や提言内容に対してお互いに質疑応答や意見交換を行った。

● 全員協議会

令和 2 年 1 月 24 日

道志村役場庁舎整備検討委員会検討報告

- ① 役場来庁者にとって、ワンストップ窓口に対応できず、行政効率の低下を招いている。
- ② 国道を挟んだ駐車場環境のため利便性が悪い。
- ③ 建物、設備の経年劣化が目立ち、建物自体の耐用年数が過ぎているため、今後、更なる維持経費の増大が見込まれている。
- ④ 更なる行政需要の拡大に対応するには、現

役場庁舎では限界である。

- ⑤ 相談などのプライバシーの保護や庁舎内外に段差があり執務空間が狭くバリアフリーへの対応が不足している。
- ⑥ 役場庁舎（防災拠点）として、必要な耐震性能を満たしていない。

これらの課題について解決していくには、新庁舎の建設が必要であるとの説明を受け、検討、協議した。

● 建設厚生常任委員会

令和 2 年 2 月 17 日

役場にて建設厚生常任委員会を招集し、委員全員、議長、本年度提出した提言 4 項目について説明を受けた。

- ① やまゆりセンター裏沢土石流箇所早期解消
- ② 道坂川の土砂災害防止について

- ③ 三ヶ瀬、狭あい道路箇所の改善について
- ④ 高齢者の村外の病院等への送迎について

回答書並びに説明を受け、委員全員で共有し、引き続きご努力いただくようお願いした。

議会活動報告

令和2年度山梨県東部広域連合予算（構成市村負担金）

令和2年2月17日

I. 歳入歳出予算状況

（単位：千円）

区分	令和2年度（A）	令和元年度（B）	（B）－（A）
歳入歳出金額	86,292	92,358	△ 6,066

II. 構成市村負担金

（単位：千円）

	広域行政計画負担金	介護認定審査会負担金	障害区分認定負担金	情報公開個人情報審査会	公平委員会団体負担金	合計
都留市	16,076	10,982	139	478	76	27,751
大月市	13,466	11,766	21	572	52	25,877
上野原市	12,712	10,678	19	514	49	23,972
道志村	1,975	1,609	6	93	7	3,690
小菅村	1,364	1,228	5	47	6	2,650
丹波山村	1,201	1,086	4	50	6	2,347
広域事務組合	0	0	0	0	2	2
	46,794	37,349	194	1,754	198	86,289

III. 連合などの組織によらず、広域的に事務の共同処理を行う方法とその枠組みについて検討していくことが確認された。

総務文教常任委員会

令和2年2月21日

令和元年度の政策提言書を同年12月3日、村当局へ提出し、各提言事項について次のよう回答が有りました。

1. 小中学校グラウンドの水はけ改良整備を行う。

回答 同施設は小中学校での利用の他多くの役割を持つ施設であること、同施設の水はけが悪いことは承知している。改修には補助金が見込めない状況であるが、財政や、改良工事の時期、方法を検討する。

2. 池の原橋改良工事、その周辺の道路整備を行う。

回答 池の原橋は昭和49年以来、45年が経過し耐震化や幅員不足などの問題から架け替えの必要がある。また、周辺の道路整備については用地確保費用を見極めて事業化を進める。

3. 防災訓練の内容を見直し、村民に防災意識を高めてもらう。

回答 防災訓練への参加者の増加対策は、自治会長の会議を開催し趣旨の徹底を図っている。その他広報紙、チラシ配布と消防団員、民生児童委員、災害対策本部委員の研修会等で周知を図っているが、訓練内容の見直しを検討する。

回答2 避難所生活に必要な物品のセットを来年度配布予定です。

回答3 避難マニュアルを作成し配布予定です。

4. 小学校独自の専任英語教員を任用配置する。

回答 道志小学校においては、忍野小学校に配置されている英語専科の教員が兼務で担任と中学校へ配置しているALTと外国語活動、外国語科教育を行っている。生きた英語教育が実施できるよう専任英語教員の配置を県に要望している。

あの一般質問は今...



平成26年12月定例会

質問

耐震基準を満たしていない役場庁舎の今後の計画は。

答弁

・現在の庁舎は昭和41年に建設され、48年が経過しており、途中で2度の増設工事を行っている。
 ・平成24年11月庁舎の耐震診断を実施した結果、想定する震度に対し強度が不足しているため補強が必要と判断されている。
 ・役場庁舎は防災拠点としても重要であることから建て替えも視野に入れ、資金計画等、諸課題について、村民、議会、行政が一体となり検討する。

平成29年9月定例会

質問

国道413号線村内の交通事故防止対策は。
 ・村内における交通事故は、毎年30〜40件発生しているが、村のイメージアップの為に強力な安全対策が必要ではないか。
 ・道路の改良工事も必要ではないか。
 ・看板・標識・回転灯も必要ではないか。

答弁

・近年特にバイクと自転車の交通量が増加しており、バイク事故は年間30件以上発生している。
 ・村としては、(山梨県警、神奈川県警、安協)と相談、協議を進め、街頭指導、啓発活動、陸、空からの連携取締りを実施している。
 ・小中学校から募集した交通安全標語の看板設置を行い、横断幕等、安協の事故防止運動への支援は続けていく。

その結果今は



交通指導の様子

大月交通安全協会道志支部、大月警察署、津久井警察署、神奈川バイクボランティア等の協力のもと村内で年4回の街頭指導、大月警察署の交通取り締まりを年間25回実施。また、交通事故多発地点の調査及び検討会を実施し、ポストコーンや注意看板等の整備を実施。その他村内の危険地へカーブミラーの設置を行い交通安全対策を講じた。その結果、令和元年は年間の事故件数が10件未満まで減少した。



現役場庁舎

平成29年度策定、道志村総合計画、道志村公共施設等管理計画に基づき道志村役場庁舎整備検討委員会を令和2年3月12日設置し諮問の結果、新庁舎の建設が必要であるとの報告を受けている。今後は新庁舎建設委員会を設置し、長期視野に立ち、経済的、親しみやすい、便利、安全な環境に配慮した庁舎の建設に向けて協議をしていく。

議会の考え

継続的な、関係者が一体的に連携した交通安全運動と対策によって交通事故の減少が図られている。今後とも行政、住民が一体となった交通安全運動をお願いします。

行政と議会、住民が連携して基本計画に添った新庁舎建設を進めていただきたい。

紹介

民生委員・児童委員協議会

会長 山口 光美

地域のつなぎ役としての

民生委員



昨年12月に改選された、村内15名の民生・児童委員協議会（民児協）よりご挨拶します。まず制度を知ってもらおう事からです。

堅い話になりますが始まりは大正6年からで百年を超える歴史があります。現在は

◎厚生労働大臣によって委嘱されたボランティアであること

◎地域住民の身近な相談相手、専門機関へのつなぎ役であること

◎守秘義務を有しており、安心して相談のできる相

手であること、と定義づけられております。

役割として地域の福祉課題に関心を持つとあり、平たく言えば、

◎誰も孤立しない地域をつくらう

◎高齢者に優しいまちをつくらう

◎まち全体で子供たちを見守り、育てよう、

という活動が期待されます。「福祉課題」とか「福祉需要」とか聞きなれない言葉がありますが、要

は誰に何を、どうやって伝えるか。そして役場や社

会福祉協議会をはじめ、幅広い関係者と連携、協働をとり、多くの人がかわり、地域の人に身近に感じてもらえるよう取り組む事、とマニュアルにあります。

●山梨県民児協

今回の改選で県内全体では委員数2,531人を数え、その3分の2が新任委員の割合です。日本全国では23万人の大組織、うち3分の1が新任ということですが、我が村はというと伝統的に100%新任です。県の総会に出ると単位会長は121名いて、理事会を33名で構成し、今年度、郡内地域の都留ブロック8人衆の一

人として当番監事に当たった。理事会は10期も務めるような人格者ばかりで、新人では肩身が狭く気圧される。予算書を見れば、

関東ブロックだ、全国大会の旅費が複数人分計上されている。しかも任期が3年とあり、当分は甲府通いが続きそうだ。



民生委員会のみなさん

がんばる人紹介

「ふるさと道志」の学習



道志中学校
校長 跡部 洋二さん

道志中学校に赴任し、一年が経ちました。テーマの「がんばる人」を、私なりに考えると、真っ先に本校の生徒並びに、先生方の顔が浮かびました。

本校の生徒は、とても真面目で、何事にも一生懸命取り組む素晴らしい生徒です。私は、常々生徒たちを誇りに感じています。

また、その生徒を指導する先生方も、すばらしいです。それぞれが個性豊かで、互いの長所を生かしながら、日々の指導に粘り強く取り組んでくれています。

せっかくの機会ですの

で、本校の取組の一つを紹介します。

本校は、道志小学校とも連携し、郷土愛を育むことを目標とした「ふるさと道志」についての学習に力を入れています。

一年生では、森のコテージに宿泊し、村内の名所や旧跡などの学習を行っています。また、「やしゃー飯」や「おきゅうだい」などの地域の文化や芸能の学習にも取り組んでいます。

二年生では、宿泊で横浜訪問を行い、水を通じた横浜市との交流についての学習を行っています。また、職場体験を通して、地域の産業の学習もしています。

三年生では、「村への提言」を行い、三年間学習してきたことを生かして、今後道志村をより一層発展させるための考えを村

に提案しています。

この他にも、東富士七里太鼓の活動や村民体育祭への参加、楽つどうしへの協力など、地域の活動にも積極的に取り組んでいます。

「子どもは、本村のかけがえない財産である。」の村の基本方針にしたがい、今年度も本校生徒のため、全力で教育活動を進めていきます。皆様からのさらなる、ご支援・ご協力をお願いいたします。



七里太鼓の演奏活動

編集後記

いつになく暖かな春を迎え、私たちも、3月定例会を終え任期最後の議会だより制作にあたり、31号当初は先輩議員に指導をお願いし未経験者4名で手探り状態始めたのを思い出します。今では4年間16回の経験と試行錯誤しながらも、多くの皆さんに、読んでいただけるように、努力してきましたが、46号で私たちの議会だより編集は終わりがへとバトンタッチします。

今年はおリンピックイヤーで道志村をPRするには、絶好の機会になると思いますので、これを機に道志村の益々の発展をご祈念し、編集後記とします。

(佐藤進)

広報常任委員会

委員長 菅谷 政文
副委員長 佐藤 長久
委員 杉本 孝正
委員 佐藤 進